



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

第7回八大学工学系連合会公開シンポジウム －輝く女性と博士を社会へ－

参加者の感想（中学3年生の女性）

2025年4月25日

北海道大学工学研究院

質問：参加したきっかけは？

このシンポジウムについては、
学校の職員室の前に貼ってあったポスターで知りました。

いま、中高一貫校の3年生で、
次年度、文・理選択しなければならないので
工学系の学部の情報など、
これまであまり知らなかった情報が得られればと思い、
申し込んでみました。

質問：参加してみてどうでしたか？ ①

これから社会で活躍するために、大学に進学したあと、博士号をとることの価値を理解できました。

学校でもだんだん大学入試のムードになってきていて大学に合格することが全てのような印象でしたが、大学で学んだことを社会でどのように活用するかが大事なんだということに気づかされました。

質問：参加してみてどうでしたか？ ② 情報の認知度に関して

大学や国の取り組みの認知度が低いことを問題視されている

先生方もいらっしゃいましたが、

博士号をとることが、これからの社会で活躍するのに大事だということを全然知らなかったの、まさに認知できていなかったんだと思いました。

ただ、その問題に気づいている人たちが発信してくれることも大切ですが、

これからの社会を担わなければならない私たちも

もっと積極的に情報をかき集めて、課題に気づいたり、

早めに考え、準備したりすることも大事なんだと思います。

質問：女性の工学系人材が少ないことについては？

女子学生が1割強しかいないという話を聞き、
3対7くらいのことで問題になっていると想像していたので、
驚きました。

（こうした社会課題を知ると）

私たちの年代の学部選択が日本の社会の未来にとっても
大事なんだと実感できて（シンポジウムに参加したことが）
良い機会になったと思いました。

質問：女子枠入試についてはどのように思いますか？

女性が優先的に専門的な分野に入学できる機会が与えられることは良いと思うのですが、
学力が下がるのではないか等の反対の声もあると聞いて、
それも女性の学力が低いというジェンダー意識が残ってる
ことが問題なのではと思いました。

それは日本に根付いてしまっている感覚だと思うので
そういった価値観を無くすためには、やはり女性が社会に出て、
活躍できるという姿を見せていかなければならないと思います。